

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい青葉		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和8年2月17日 16時20分 ~ 17時	場所	オンライン
----	------------------------	----	-------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	歯科医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	医療法人副理事長
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ほっと青葉 代表
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	荏田地域ケアプラザ 社会福祉士
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	大場地域ケアプラザ 社会福祉士
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	たまプラザ地域ケアプラザ 社会福祉士
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ここから訪問看護リハビリケアあざみ野 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ナースの家すすき野 看護師

4. 活動状況報告

別紙(第3号様式)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

包括①:(活動報告書の)イベントの和菓子の写真などをみて皆さんが楽しまれている様子がわかりました。

地域支援者:ヒヤリハットで管が抜けるということについて今回が多かった印象。
原因については職員なのか利用者さんなのかは気になった。

医療法人副理事長:感染症、カテーテルなど共通の課題がある。
人員の状況と事故の発生に関しては必ずしも関連性がないと思うが、
起こってしまったあとの対応については自分たちも医療法人として勉強になるなど思っている。

包括①:一斉に荏田地域に戻ってきてもらえたのが心強い。
ケアプラザも同様に地域あってこそと感じている。障害の方との情報交換会を地域の方と行う。
一緒に地域を作って行きたいと思うのでご協力をお願いしたい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

管が抜けるということについて
⇒職員が慌ただしいとか足りないという状況はなかった。 たまたま重なってしまったという感じ。

7. 地域からの情報提供

8. その他特記事項

R8年1月、「小規模多機能施設 ゆい青葉」と同一敷地内に、青葉区で2棟目となる障がい者グループホーム「ゆいりんく 荏田 アネックス」が開設された。
同時に、あざみ野で運営していた居宅介護支援・訪問介護・定期巡回の3事業所が荏田町へ移転し、青葉区内の全事業所が同町に集結した。
これにより、サービスの一体的運営と、障がい者・高齢者が支え合う共生型サービスの推進体制を整えた。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい 青葉		
所在地	横浜市 青葉区 荇田1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(1月 31日現在)	女性 22 名		男性 5 名		計 27 名		
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	2 名	7 名	5 名	10 名	3 名
平均介護度	3.3						

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	12	4	16	
イ	15	7	17	
ウ	18	5	36	
エ	8	0	20	
オ	18	8	25	
カ	25	10	30	
キ	16	12	8	
ク	14	4	44	
ケ	12	6	33	
コ	12	0	24	
サ	9	0	22	
シ	0	0	8	
ス	11	4	24	
セ	12	0	39	
ソ	0	0	0	入院中
タ	24	12	24	
チ	31	27	8	
ツ	30	31	0	GH入所待ち
テ	9	0	18	
ト	19	29	10	
ナ	0	0	0	入院中
ニ	22	11	22	
ヌ	13	0	37	
ネ	9	0	31	
ノ	23	16	16	老健入所待ち
ハ	17	0	34	
ヒ	10	10	0	1/20 利用開始
フ				
ヘ				
平均	14	7	20	

*

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念: その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標: 仲間と地域で築く、優しさの介護
目標に向けた 具体的取組	<p>【事業所のしつらえ・環境】 「“やりたい”を形にする、自由な暮らしを」 ・柔軟なスケジュールを作成 ・日々の生活にかかわる外出の支援 ・やりたいことを個別に実現していく ・施設回りの清掃活動</p> <p>【事業所と地域のかかわり】 「地域との交流を深める環境づくり」 ・自治会、地域のイベントに入居者と一緒に参加する (利用者と共に地域の防犯パトロールに参加) ・他事業所と連携してのイベントの計画及び開催</p> <p>【業務・職員について】 「仲間と共に築く、優しさの介護」 ・ボトムアップを取り入れる (ミーティングや会議の場でスタッフが自由に意見を出せる仕組みを考える) ・チームワークを強化するために、計画的なレクリエーションを実施し、スタッフ間の絆を深める</p>

5. 活動報告

<p>○社内研修 ジョブモデルアカデミー(eラーニング) 【11月】非常災害時の対応に関する研修 【12月】倫理及び法令順守に関する研修 【1月】クレーム対応に関する研修</p> <p>○外部研修</p> <p>○行事 11月: 日々の様子 12月: 和菓子教室、クリスマス会 01月: 年末年始</p> <p>* フラワーアレンジメント・・・毎月第2・第4木曜日 希望者のみ参加</p>
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>事故・・・2件(内行政報告 0件) ヒヤリハット・・・ 3件</p> <p>●事故報告 12/22(月)車いすからベッドへの移乗介助中、利用者のバルーンチューブが外れているのを発見した。陰部からの出血などはなかった。発見後、速やかにクリニックへ連絡し、処置を実施していただきました。</p> <p>●ヒヤリハット 3件 ①転倒・転落の危険性(1件) ②むせ込み・誤嚥の危険性(0件) ③その他(2件)</p>
----	---

改善策	<p>●事故報告 【原因】バルーンの状態確認を十分に行っていなかった。</p> <p>【対策】移乗介助時および排泄介助時には、必ずバルーンおよびチューブの状態を確認してから介助を行うよう徹底する。バルーン管理に関する注意点を職員間で再共有し、確認体制を強化する。</p>
-----	---

7. 地域への情報提供

3月に家族会(運営推進会議)実施

8. その他特記事項

特になし